サポート情報記事

Employee Details と Employee Directory の違い

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

比較一覧 4

どちらの **Web** パーツを使うべきですか**?** 5

組み合わせて使う 6

よくある質問 7

Employee Details は **Employee Directory** の詳細ペインの代わりになりますか**?** 7

どちらも同じ **Microsoft Graph** アクセス許可が必要ですか**?** 7

従業員は **Employee Directory** で自分のプロファイルを編集できますか**?** 7

両方の製品を購入する必要がありますか**?** 8

組織のカスタム属性を両方で表示できますか**?** 8

用語 9

概要

Vitextra には、どちらも **Microsoft 365** の従業員データを扱う 2 つの **Web** パーツ、**Employee Directory** と **Employee Details** があります。名前が似ており、プレゼンス、現地時刻、連絡アクションなど一部の機能は共通で、一緒にインストールされることも少なくありません。ただし役割は異なり、適切なほうを選ぶことで構成にかかる時間を節約できます。

要点は次のとおりです。**Employee Directory は人を探すためのものです。Employee Details は 1 人の人物を詳しく見せるためのものです。**

比較一覧

	Employee Directory	Employee Details
主な役割	従業員の一覧を検索し、目的の同僚を見つける	1 人の従業員の個人ページ全体を表示する
開始点	検索ボックスと、従業員の一覧またはカード	1 人の従業員: 現在のユーザー、選択したユーザー、またはページのアドレスで指定されたユーザー (`?user=`)
検索とフィルター	人の検索、絞り込みパネル、クイック フィルター、お気に入り、スキル検索	なし - 1 人を表示します。上司、直属の部下、同僚をたどって移動します
ビュー	詳細レイアウトとカード レイアウト	ヘッダーとタブ: 概要、ドキュメント、プロジェクト、教育、表彰、証明書、ひと、アクティビティ、インサイト
プロファイル情報の詳しさ	選択した人物の連絡先、現地時刻、対応可能状況を表示するプロファイル パネル	完全なページ: スキル、言語、ソーシャル アカウント、自己紹介、プロジェクト、教育、表彰、

	Employee Directory	Employee Details
		証明書、ドキュメント、同僚、アクティビティ、インサイト
編集	プロファイルの編集は想定していません。検索と閲覧のためのものです	従業員が自分のスキル、言語、ソーシャル アカウント、自己紹介などのプロファイル セクションを編集します
連絡アクション	検索結果に対するチャット、通話、メール、会議のアクション	Teams でチャット、プロファイルへのリンクをコピー、連絡先を保存 (.vcf)、QR名刺、会議のスケジュール
エクスポート	検索結果の Excel へのエクスポート	1 件の連絡先の .vcf ファイルまたは QR名刺へのエクスポート
代表的なページ	「同僚を探す」ページまたは社内ディレクトリ	「マイ プロファイル」ページ、または任意の従業員に対して開くプロファイル ページ
プラットフォーム	**SharePoint Online**	SharePoint Online

メモ

Employee Directory には **Employee Directory (Entra ID)** と **New Employees** の Web パーツも含まれており、**Microsoft Teams** に追加することもできます。機能の全一覧については、KB10064. Employee Directory の概要: Web パーツ、SPFx、Microsoft Graphを参照してください。

どちらの Web パーツを使うべきですか?

ユーザーが人を探す必要がある場合は、**Employee Directory** を選びます。

- 「リガのオフィスにはだれがいますか?」
- 「**Power BI** に詳しいのはだれですか?」
- 「経理部門のだれかの電話番号が必要です。」
- 従業員の一覧を Excel にエクスポートしたい。

ユーザーが人物について知る必要がある場合は、**Employee Details** を選びます。

- 各従業員が自分のプロファイルを確認し、管理できる個人ページ。
- **ニュース投稿**、チーム　ページ、メッセージ内のリンクから、任意の同僚に対して開くプロファイル ページ。
- 従業員のスキル、言語、ドキュメント、プロジェクト、組織内での位置を表示するページ。
- 従業員が承認フローを通じて役職や部署の変更を申請できる仕組み。

両方を使うのは、人に関する包括的なエクスペリエンスを実現したい場合です。ディレクトリで検索し、そこから完全なプロファイルを開きます。次のセクションを参照してください。

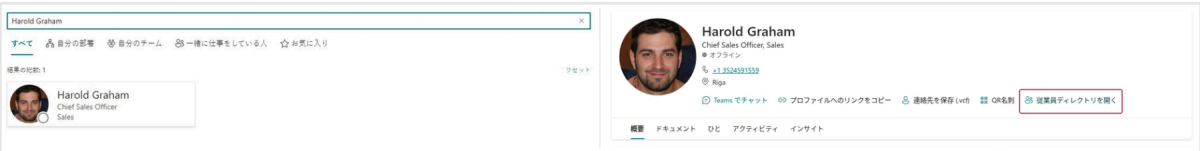
組み合わせて使う

2 つの Web パーツは、ページのアドレスで連携します。

1 クエリ文字列パラメーターから従業員を取得するように設定した Employee Details のページ (すべての人に対応するプロファイル ページ) を作成します。このページのアドレスは次のようになります: `https://<tenant>.sharepoint.com/sites/<site>/SitePages/Profile.aspx?user=<user principal name>`。

2 Employee Details の設定で、Employee Directory があるページのアドレスを指定します。すると、すべてのプロファイルのヘッダーに　**従業員ディレクトリを開く** ボタンが表示され、検索に戻れるようになります。

3 ニュース投稿やオンボーディング　ページなど、人物へのリンクにプロファイル ページのアドレスを使用します。



2 つのページにある Employee Directory と Employee Details

メモ

従業員ディレクトリを開く ボタンは、Employee Details の設定で構成します。逆方向では、プロファイル ページのアドレス (`<page>?user=<user principal name>`) を、ニュース投稿、チーム ページ、オンボーディング チェックリスト、メッセージなど、リンクを配置できるあらゆる場所で使用できます。

よくある質問

Employee Details は Employee Directory の詳細ペインの代わりになりますか?

いいえ。Employee Directory の詳細ペインは検索エクスペリエンスの一部で、検索結果で選択した人物の簡易的なプロファイルを表示します。Employee Details は独自のページを持つ独立した Web パーツで、タブの数が多く、従業員自身のプロファイルを編集することもできます。ディレクトリでは引き続き詳細ペインを使用し、全体像が必要な人向けに Employee Details を追加できます。詳細ペインの設定については、KB10199. Employee Directory: 詳細ペインのカスタマイズを参照してください。

どちらも同じ Microsoft Graph アクセス許可が必要ですか?

いいえ。どちらも **Microsoft Graph** を通じてデータを読み取りますが、製品ごとに必要なアクセス許可のセットが異なり、テナント管理者が **SharePoint** 管理センターで承認します。Employee Details では、自分のプロファイルを編集するためのアクセス許可 (`User.ReadWrite`) と、ドキュメントとインサイトを読み取るためのアクセス許可 (`Files.Read.All`、`Sites.Read.All`) が追加で必要です。完全な一覧は、KB10279. Employee Details: ソリューションの概要に記載されています。

従業員は Employee Directory で自分のプロファイルを編集できますか?

ディレクトリは、プロファイル データの検索と閲覧を目的としています。従業員は、自分のスキル、言語、ソーシャル アカウントなどのプロファイル セクションを Employee Details で編集します。

両方の製品を購入する必要がありますか?

いいえ。これらは別々の製品であり、どちらか一方だけでも使用できます。試用版とライセンスについては、KB10206. Vitextra のライセンスとアカウント: ライセンスの購入と有効化を参照してください。

組織のカスタム属性を両方で表示できますか?

はい。どちらの Web パーツも、**Microsoft Entra ID** の拡張属性と SharePoint のユーザー プロファイル プロパティを追加属性として表示できますが、構成は Web パーツごとに個別に行います。Employee Directory については、KB10060. Employee Directory Web パーツでカスタム Entra ID 属性を表示する方法を参照してください。

ヒント

Employee Details を使い始めるには、KB50029. Employee Details Web パーツを追加して構成する方法を参照してください。Employee Directory については、KB50023. Vitextra Employee Directory Web パーツを追加して構成する方法を参照してください。

製品の詳細: *https://vitextra.com/ja/products/employee-details* および *https://vitextra.com/ja/products/employee-directory*

用語

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Entra ID
Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) は、Microsoft が提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスです。組織は、ユーザーの ID と、社内外のさまざまなリソースへのアクセスを効率的に管理し、保護できます。これらのリソースには、Microsoft 365、Azure プラットフォーム、その他数千もの Software as a Service (SaaS) アプリケーションが含まれます。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

Power BI
Microsoft Power BI は、ユーザーがデータを視覚化し、組織全体でインサイトを共有したり、アプリや Web サイトに埋め込んだりできる、ビジネス分析ツールです。さまざまなデータ ソースに接続し、生データをインタラクティブなダッシュボードやレポートに変換して、直感的なドラッグ アンド ドロップ機能でデータを分析できます。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケー

ション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

Web パーツ
Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

ニュース投稿
ニュース投稿は、組織内の他のユーザーとお知らせ、状況の更新、ストーリーを共有するために使用される、[ニュース投稿] タイプのサイト ページです。ニュース投稿は、ニュース Web パーツと SharePoint スタート ページに表示されます。